

清肺排毒湯による  
新型コロナウイルス感染症の治療経験

---

『漢方の臨床』67巻8号(2020)別刷

○渡辺賢治・渡辺紀子

## 清肺排毒湯による新型コロナウイルス感染症の治療経験

修琴堂大塚医院 ○渡辺賢治・渡辺紀子

### 諸言

中国、湖北省武漢市で始まった新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は日本においても1月から感染者が出現し、春節の後に一時ピークがあった。その後一旦落ち着きを見せたものの、ヨーロッパでの感染を背景に、3月に入り患者数が増加し、4月は新規感染者数が急増した。

中国においては封鎖した武漢市に全国から集まった医師団4万2000人のうち、4900名が中医師で、火神山病院と雷神山病院を建設して、その前線で中医学治療に当たった。初期の頃は急増する患者への対応に追われていたが、国家中医药管理局を中心にガイドライン作成を行い、3月3日に公布された新型コロナウイルス肺炎診療ガイドライン (試行第七版) はかなりまとまったものになっている。<sup>(1)(2)</sup>

このガイドラインによると、軽症から重症まで幅広く使える薬として清肺排毒湯が上げられている。これは古典にはない薬であり、今回新たに作った薬である。中国国家中医药管理局は、ガイドライン試行第七版公布に先立つ2月19日に10省57病院で確認されたCOVID-19患者701例に対する「清肺排毒湯」の治療成績を発表した。<sup>(3)</sup> それによると130例が治癒・退院し、51例は症状が消失、268例は改善、212例は悪化しなかった。結論として、COVID-19治療に優れた臨床効果を持つ、として開発の経緯が記載されている。

今回、PCR陽性COVID-19患者に対して清肺敗毒湯を使用した夫婦の例を経験したので報告する。

【症例2】 36歳、女性  
 【主訴】 発熱  
 【既往歴】 橋本病にてチラージン100μg服薬している。  
 【家族歴】 特記すべきものなし  
 【嗜好】 喫煙なし。機会飲酒週1回程度。  
 【現病歴】 普段の平熱は35℃前後と低めである。発症日（1日目とする）に37℃程度の微熱を認めたと同時に咳が出現した。3日目はいったん平熱に戻ったが、4日目に再び38・9℃の発熱を認めた。5日目も38・9℃の発熱を認め、咳き込みも激しかった。また頭痛も強く、鼻出血を認めた。10日目にPCR検査を受け、アセトアミノフェン、クラリスロマイシン、トラネキサム酸、L-カルボシステ

れる感じが出現し、腹部膨満が悪化した。呼吸困難が出現し、SpO<sub>2</sub>は92%まで低下したが、翌日は自覚症状がかなり楽になり、最高体温は38・5℃であった。13日目には、朝解熱したものの、昼には37・5℃まで上昇したが、気分的には楽になり、平常に戻った感じがした。翌日以後発熱は治まった。清肺排毒湯は1週間服薬し、その後ジュンコウ補中益気湯FCエキス錠医療用12錠、分2を1週間継続し、発熱再発なく、治療を終了した。その後PCRの陰性化を確認した。

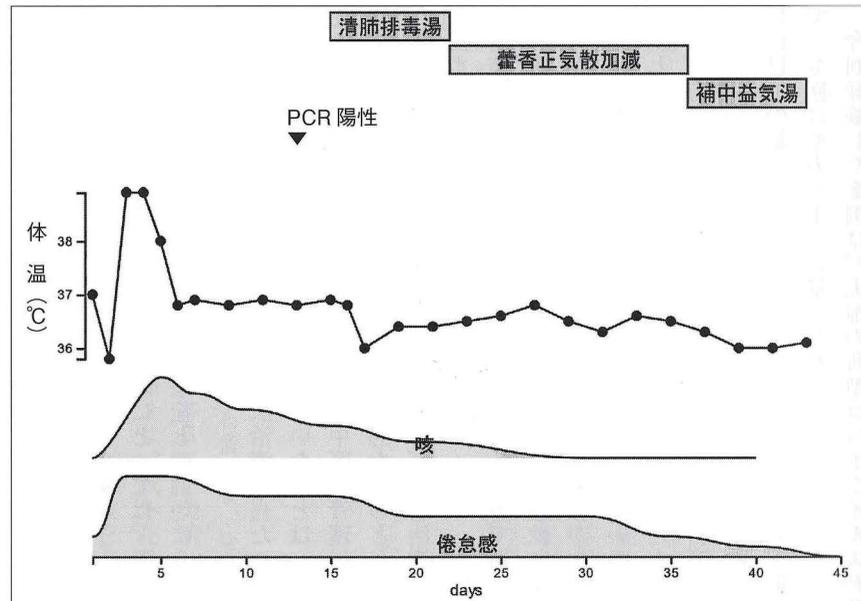


図2 症例2 経過表

## 症 例

【症例1】 59歳 男性  
 【主訴】 発熱  
 【既往歴】 特記すべきものなし  
 【服薬歴】 なし  
 【家族歴】 特記すべきものなし  
 【嗜好】 喫煙なし。飲酒ほとんどしない。  
 【現病歴】 発症日（1日目とする）に37・0℃の発熱を認めた。2日目、午前は37・5℃だったが夕方38・0℃まで上昇した。それ以降毎日のように朝方は37℃前後、夕方は39℃前後の発熱を認め、7日目に近医でPCR検査を受け、アセトアミノフェン、クラリスロマイシン、トラネキサム酸、L-カルボシステインを処方され、服用を開始した。10日目に陽性と判明した。自宅待機を命じられ、同日大塚医院に電話して遠隔診療を行った。  
 トイレの拭き掃除の臭いが分からないなどの嗅覚障害がある。また、食欲はあるが、腹部膨満感を自覚する。夜中に咳込むが痰はない。咽頭痛がある。  
 【身体所見】 身長170cm、体重76kg。  
 【経過】 清肺排毒湯（構成生薬・量は別記）を処方した。服薬開始した11日目には39・5℃の発熱を認め、咽喉が腫

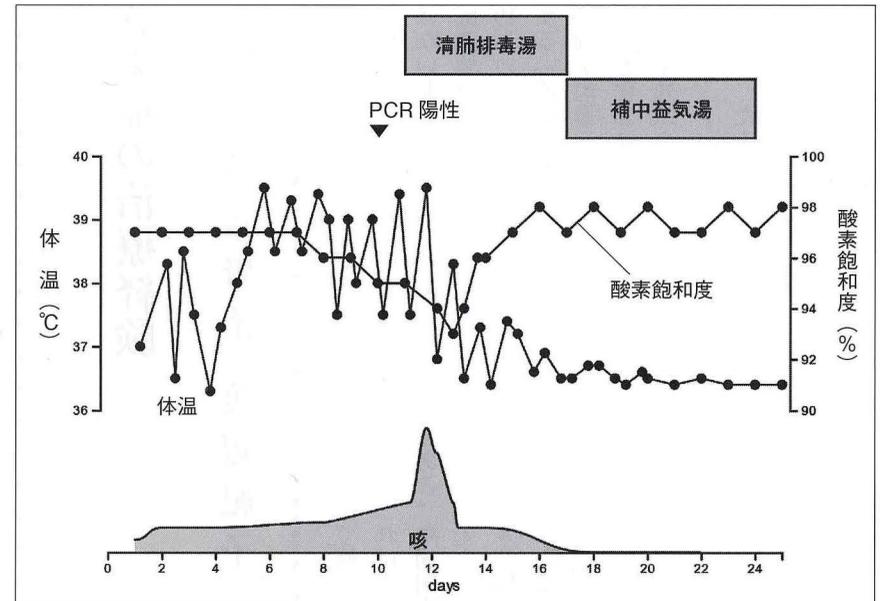


図1 症例1 経過表

インを処方され、服用を開始した。13日目に陽性と判明した。

【身体所見】 身長168cm、体重54kg。

【経過】 清肺排毒湯を1週間服薬した。熱は36℃台になつたが、平熱が35℃台のため、多少微熱感がある。頭痛はとれた。咳痰は多少出る。藿香正気散料加菊花3、杏仁3、連翹3、薄荷2とした。その後も36・5℃前後の体温が継続した。頭痛は少しある。倦怠感を取れた。32日目、PCR検査施行したがまだ陽性とのことであった。33日目から鼻汁が少しある。体温は36℃前後で倦怠感が少しあるが、頭痛はない。咳・痰もない。34日目よりジュンコウ補中益気湯FCエキス錠医療用12錠、分2に変更し、1週間の服薬で治療中止となつた。その後PCRの陰性化を確認している。

考 察

感染症は人類史上において大きな脅威であり、医療の発達の過程で感染症が大きな存在であったことは洋の東西を問わない。『傷寒論』の序文には、張仲景の「親族200人のうち2/3が10年経たないうちに死んだが、そのうち7割が傷寒であった」とある。『傷寒論』での治療は、まさに随証治療であり、証の変化を見逃さずに漢方薬を変えて

いくことを重視する。昭和の先達らは患者宅に上がって徹夜で証の変化を見たということなので、まさに『傷寒論』の通りの治療を実践してきたのである。疫病で子どもを亡くしている湯本求真、大塚敬節などにとっては、急に変化する容態を見逃さないことは、感染症との闘いにおいて身についたものであったと推察される。

筆者は中国武漢市での第一線の中医治療に当たった医師らとの交流を通じて、彼らが強調していたことは「証の変化を見逃さないこと」であった。国家中医薬管理局からのガイドラインは試行錯誤の上で、最終的なものとして出されたが、現場中医師らは証に応じてさまざまな治療を駆使したようである。

清肺排毒湯は処方構成からすると傷寒論処方である麻杏甘石湯、五苓散、小柴胡湯、射干麻黄湯、茯苓飲に藿香が配合されたような内容である。武漢市で患者数がオーバーシュートした際に細かい証を見立てる時間がないので、刻一刻と変化する症状に対応するために創方されたものである。原方では石膏は15g〜30gと幅があるが、石膏を15gとしても総生薬量は196gあり、例えば麻黄湯に比較すると10倍以上の量になる。中医学と日本漢方の量の差を勘案して、今回は原方の1/3量とした。

今回経験した症例は、夫婦の新型コロナウイルスPCR

陽性例であったが、清肺排毒湯の治療効果には大きな差が見られた。発症時期はほぼ同じであるが、夫は高熱が持続し、症状はより激しかった。PCR陽性が判定されても自宅待機を命じられたため、肺のCTは撮影されていないが、酸素飽和度はすでに低下傾向にあり、肺炎像があつた可能性は高い。ニューヨーク市におけるデータでも男性が重症化しやすいと報告されている。新型コロナウイルスの受容体であるアンギオテンシン転換酵素2 (ACE2) 発現が性ホルモンの影響を受けるといふ報告もある。また、ウイルスのスパイク蛋白を切断し、ウイルスの侵入を許すTMPRSS2はアンドロゲン受容体でもあり、男性で発現

一方妻は病初期に高熱が出たものの、漢方薬を開始した時には既に高熱はなかった。清肺排毒湯の服薬によって、熱は上がらなくなったものの、倦怠感が長く残り、治療が長引いた。同じ薬でも実証の夫は実の反応の後、早く治癒したが、虚証の妻は治癒までの時間が長引くのも漢方の理論通りの経過であろう。

【経】 清肺排毒湯を1週間服薬した。熱は36℃台になつたが、平熱が35℃台のため、多少微熱感がある。頭痛はとれた。咳痰は多少出る。藿香正気散料加菊花3、杏仁3、連翹3、薄荷2とした。その後も36・5℃前後の体温が継続した。頭痛は少しある。倦怠感を取れた。32日目、PCR検査施行したがまだ陽性とのことであった。33日目から鼻汁が少しある。体温は36℃前後で倦怠感が少しあるが、頭痛はない。咳・痰もない。34日目よりジュンコウ補中益気湯FCエキス錠医療用12錠、分2に変更し、1週間の服薬で治療中止となつた。その後PCRの陰性化を確認している。

新型コロナウイルスの治療に当たっては、とにかく重症化させないことが重要である。重症化リスクが高いのは男性、肥満、高齢、基礎疾患などが挙げられている。重症化させなければ時間はかかっても治癒することは、ほかの症例でも経験している。

COVID-19との闘いは始まったばかりである。今後の症例に対してこの治験がなんらかの参考になれば幸いである。

清肺排毒湯

- 麻黄3g、甘草2g、杏仁3g、生石膏5g、桂枝3g、
- 沢瀉3g、猪苓3g、白朮3g、茯苓5g、柴胡5.3g、黄
- 芩2g、半夏3g、生姜3g、紫苑3g、款冬花3g、射
- 干3g、細辛2g、山薬4g、枳実2g、陳皮2g、藿香
- 3g、石膏5g

【経】 清肺排毒湯を1週間服薬した。熱は36℃台になつたが、平熱が35℃台のため、多少微熱感がある。頭痛はとれた。咳痰は多少出る。藿香正気散料加菊花3、杏仁3、連翹3、薄荷2とした。その後も36・5℃前後の体温が継続した。頭痛は少しある。倦怠感を取れた。32日目、PCR検査施行したがまだ陽性とのことであった。33日目から鼻汁が少しある。体温は36℃前後で倦怠感が少しあるが、頭痛はない。咳・痰もない。34日目よりジュンコウ補中益気湯FCエキス錠医療用12錠、分2に変更し、1週間の服薬で治療中止となつた。その後PCRの陰性化を確認している。

これを、漢方的な視点で考えると、夫は実の反応であり、漢方薬に反応して、一過性に体温も上昇し、種々の症状が出たが、それですっきり治癒してしまつた。これは2009年の新型インフルエンザ流行時の麻黄湯の反応に近い。2009年の新型インフルエンザは若い人に流行し、麻黄湯がよく効いた。若くて体力がある人の場合、麻黄湯もしくは大青竜湯で、実の反応を示した後、翌日、遅くとも翌々日には平時と同じようにすっきりと治つた。あまりにすっきりと治るので、学校に行きたいと言つた高校生をたしなめた覚えがある。

藿香正気散加減

白朮3g、半夏3g、茯苓3g、厚朴2g、陳皮2g、桔梗1.5g、白芷1.5g、紫蘇葉1g、藿香1g、大腹皮1g、大棗1g、甘草1g、生姜0.5g、菊花3g、杏仁3g、連翹3g、薄荷2g

参考文献

- (1) 中華人民共和国中央人民政府：新型コロナウイルス肺炎診療ガイドライン（試行第七版）通知  
http://www.gov.cn/zhengce/zhengceku/2020-03/04/content\_5486705.htm
- (2) 渡辺賢治、柴山周乃：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する漢方の役割、医事新報、p.508、44～52、2020
- (3) 中国国薬中薬管理局発表清肺排毒湯の効果 <http://www.satcm.gov.cn/hudongjiaolu/guanfangweixin/2020-02-19/13220.html>
- (4) Goyal P, Choi JJ, Pinheiro LC, et al. : Clinical Characteristics of Covid-19 in New York City. *New Eng J Med.* 2020. April 17, online. <https://www.nejm.org/doi/full/10.1056/NEJMc2010419>
- (5) Vignera SL, Cannarella R, Condorelli RA, et al. : Sex-Specific SARS-CoV-2 Mortality: Among Hormone-Modulated ACE2 Expression, Risk of Venous Thromboembolism and Hypovitaminosis D. *Int J Mol Sci.* 2020;21:2948.

- (9) Chen Z, Song X, Li Q, et al. : Androgen Receptor-Activated Enhancers Simultaneously Regulate Oncogene TMPRSS2 and IncRNA PRCAT38 in Prostate Cancer. *Cells.* 2019;8:1864.
- (10) Emami A, Javanmardi F, Pirbonyeh NI, et al. : Prevalence of Underlying Diseases in Hospitalized Patients with COVID-19: a Systematic Review and Meta-Analysis. *Arch Acad Emerg Med.* 2020;8:e35.

(医師：〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町13-18)

会費切れの先生は、取り急ぎご納入下さい

『漢方の臨床』誌の発行など東亜医学協会の事業は、皆様会員の会費（年会費10,000円）と協賛広告によって運営されています。会費切れの場合は、会誌の中にその旨を記した文書及び振替用紙を同封していますが、失念されておられる場合は財政維持のために取り急ぎ納入下さるようお願い申し上げます。

- 郵便振替 00140-1-119430 東亜医学協会
- 銀行振込 三菱UFJ銀行 神保町支店
- 普通：013-0653153 東亜医学協会